



平成 28 年 2 月 19 日

各 位

上場会社名 株式会社 正興電機製作所
代表者 代表取締役社長 福重 康行
(コード番号 6653 福証)
問合せ先責任者 取締役経営統括本部長 田中 勉
(TEL 092- 473-8831)

中期経営計画の進捗と取組みについて

当社グループは、現在取組んでいる 2015 年から 2017 年までの新中期経営計画「SEIKO IC2017」の進捗状況および取組みについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 長期経営ビジョンおよび中期経営計画について

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、環境問題、エネルギー問題、老朽インフラ対策や少子高齢化、また、ICT 技術の発展による新たな市場の創出など時代のニーズは大きく変化しております。

このような事業環境の変化を社是である「最良の製品・サービスを以て社会に貢献す」のもと「情報と制御の独創技術で安全で快適な社会の実現」に取り組んでいる数々の事業が大きく成長するチャンスととらえ、2021 年の創立 100 周年に向けた**長期経営ビジョン『正興グループビジョン 100』**および**新中期経営計画『SEIKO IC2017』**を策定し、「持続的な事業の成長と企業価値の向上」に取り組んでおります。

正興グループビジョン 100 : “国内をベースにアジアで成長する正興グループ”
SEIKO IC2017 : “繋ぐ化で、事業拡大と高収益体質を実現”

【 重点 課 題 】

1. コア事業の基盤強化による事業の拡大と高収益化

“成長の柱である、環境・エネルギーソリューション、ICT ソリューション、
社会インフラ事業の拡大”

2. 新事業・新分野の拡大

“新たな成長に向け、サービス、海外事業など新規分野の拡大に挑戦”

3. 戦略的な人材育成

“戦略的な人材マネジメントによる組織の活性化”

4. CSR 経営の推進

“社会が直面する諸問題を事業を通じて解決し、社会とともに持続的に成長”

“コーポレート・ガバナンスの充実”

2. 中期経営計画の進捗と数値目標について

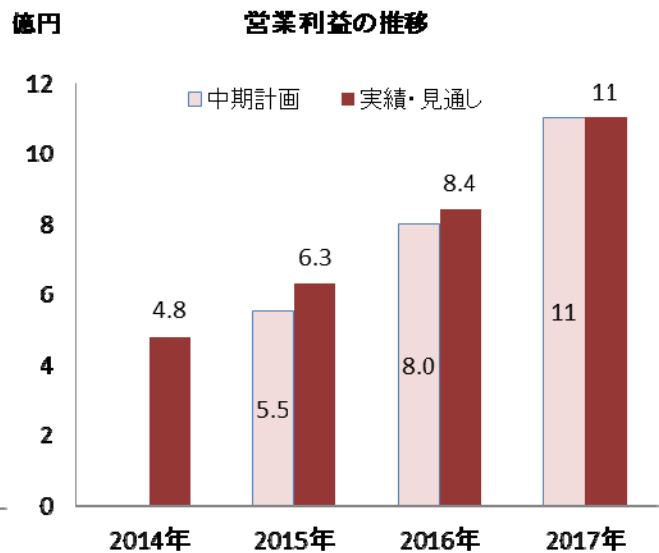
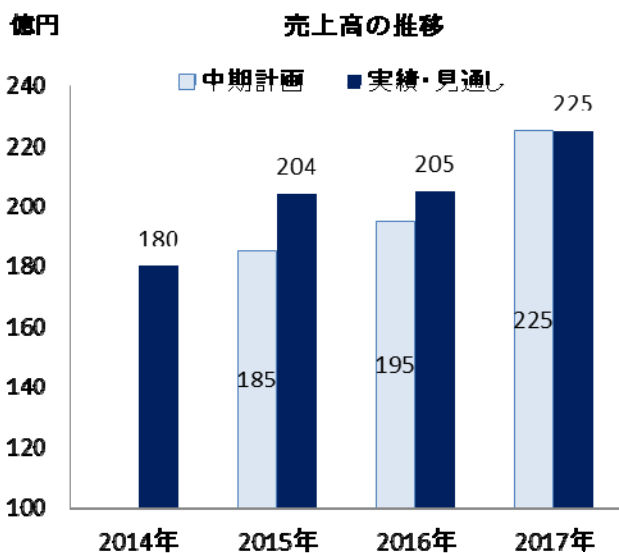
中期計画の初年度である 2015 年度におきましては、再生可能エネルギーの普及への対応や、環境・省エネ関連システムが堅調に推移したことにより、計画に対し売上高 204 億(対中期計画 110.6%)、営業利益は 6 億 3 千万(同 114.9%)となりました。

2016 年度につきましても 4 つの重点課題のもと、引き続き、環境・エネルギーソリューション、ICT ソリューション、サービス事業、海外事業展開など事業の拡大に取り組んでまいります。業績につきましても、売上高 205 億(対中期計画 105.1%)、営業利益 8 億 4 千万(同 105.0%)を見込んでおります。

尚、中期経営計画の最終年度である 2017 年度におきましては計画値の変更はございません。

<中期経営計画 SEIKO IC2017 : 計画値と実績・見通し>

	2015 年度			2016 年度			2017 年度	2021 年度
	中期計画	実績	対計画	中期計画	見通し	対計画	中期計画	ビジョン 100
売上高	185 億	204 億	110.6%	195 億	205 億	105.1%	225 億	300 億
営業利益	5.5 億	6.3 億	114.9%	8 億	8.4 億	105.0%	11 億	25 億
営業利益率	3%	3%	-	4%	4%	-	5%	8%



(注) 本資料に記載されている内容は、現時点において入手可能な情報及び一定の前提に基づき作成したものであり、記載された業績目標、施策等の実現を確約したり、保証するものではありません。今後の様々な要因により、実際の成果、業績等は、本資料の記載内容と異なる結果となる可能性があります。